

小6国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 84.4%

ねらい：漢字の読み書きが正しく答えられるかを問う。

分析と対策：漢字の読みは、問われている読み方だけでなく、他にも読み方があるかどうかを調べてみましょう。まちがえた読み方は、漢字の形もふくめて何度も練習しましょう。漢字の書きも同様に、読み方もふくめて正確に覚えましょう。

2 助詞 99.2%

ねらい：助詞の正しい使い方について問う。

分析と対策：文を読み、どのような助詞を入れると意味がつながるのかを確かめましょう。選んだ助詞をあてはめてみて、文の意味が合っているのかを考えます。助詞の種類は多くあります。どういったはたらきをするのかを確認しましょう。

3 敬語 55.8%

ねらい：敬語の正しい使い方について問う。

分析と対策：正しい敬語の表現にするときは、だれが動作しているのかをつかむことが大切です。相手の動作であれば尊敬語、自分または身内の動作であれば謙譲語けんじょうごを使います。文脈から動作主を読み取りましょう。

4 短歌・俳句と鑑賞文の読み取り 65.0%

ねらい：鑑賞文から短歌や俳句に詠まれた情景や歌にこめられた心情の理解について問う。また表現技

法について確認する。

分析と対策：短歌と俳句両方からの出題です。㉑と㉒は短歌、㉓と㉔は俳句です。短歌と俳句は短い字数での表現ですが、鑑賞文もしっかりと読み取ることで、その作品の情景などがつかみやすくなります。㉑の短歌は「この世に住むよろこび」を歌った「繊細できよらかな幽玄性を感じさせ」てくれる歌です。㉔の俳句は、羽根つきをしていて、向こうに飛んでいった羽根を、犬がくわえてきてくれるという、のどかな場面が目には浮かびます。それぞれの作品からどのようなことを感じたのかも考えてみましょう。

5 論説文の読み取り 65.4%

ねらい：文章全体の内容をつかみ、問われた問題ごとに正しい部分を答えられるかを問う。

分析と対策：まず人間とネコの似た行動について述べ、そこから人間の特徴ちゆうとくに触れつつ文章が展開していきます。「動物のことを調べていると、動物のひとつである人間のこともわかってきます」とあるように、ネコを調べていくうちに、人間の行動についてもわかってきたことがあると述べられています。また、人間とその他の動物の母親のちがいが説明されています。筆者は、「人間の最大の特徴ちゆうとく」は、「思いやり」があることだと述べています。この「思いやり」はどうやって生まれていくのかを文章から読み取り、筆者が伝えたいことをつかんでいきましょう。

全体の平均点は71.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。